

2023年度 第3回 南の星小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2023年12月11日（月）10時～11時30分まで
- 2 開催場所 南の星小学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木美佐男、小林睦夫、原川翼、井口裕士、佐藤政美、石井恭子、NARAROSA、
- 4 欠席委員 澤井友美、鈴木アリネ
- 5 オブザーバー 角屋善紀（五島協働センター所長）
- 6 学校 竹村元清（校長）、長坂明典（教頭）、林裕一（CS担当教員）井上美和（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木陽子（教育教務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議記録作成者 CSディレクター 井上美和
- 10 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、小林委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
 - （1）学校運営の現状
 - （2）来年度に向けての学校支援活動について
- 12 会議記録
司会のCS担当教員から、委員総数9名より7名の出席があり、過半数に達している為、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の現状について
議長の指示により、校長から、学校運営の現状について以下の説明があった。
 - ・学力調査の結果、いじめ対策としてアンケート調査の結果、持久走大会に向けた取り組みの様子、特別支援学校との交流等。
 - ・消防士やバルーンアートなど、様々な職種の方からお話を伺う機会を作っていること、午前5時間授業となってからの子ども達や職員の様子など。
委員から、以下の発言があった。
 - ・外国人の児童が多いことで、勉強が遅れてしまっているのではないかと。学力調査の結果を聞いて本校の学力の低さを感じた。今回だけがこのような結果だったのか。前回との比較をできれば教えて欲しい。（鈴木美佐男委員）
 - ・昨年と比較してあまり変わらない傾向。言葉の問題からくる学力の低下が原因かは、この結果だけでははっきりとは言えない。（CS担当教員）

- ・調査の段階で、日本人だけの学力の結果は数値化できるのか。(鈴木美佐男委員)
- ・この学力調査は児童それぞれ各教科の結果が分かるもの。日本人と外国人の学力の結果は表示されない。(CS 担当教員)
- ・日本人としてどこで線引きするのか難しい。外国人だからではなく、質問内容が分からないからといった言葉の理解力の問題が大きいと思う。(小林委員)
- ・うちの子どもは午前5時間授業になって、お昼まで持たないとのことで朝食の摂取量が増えた。(小林委員)

(2) 来年度に向けての学校支援活動について

議長の指示により、原川委員から、学校支援活動として、身近なところでは挨拶運動や奉仕活動があげられるが、その他にこんなことをやったらいいのではないかという意見があれば聞かせてもらいたい。また、その際のとりまとめはどうするのかについての意見も合わせて聞かせてもらいたい、との提案があった。

委員から、以下の発言があった。

- ・理想としては、とりまとめは初めは顔見知りの方がやった方がよいと思う。その方が支援活動の参加のハードルは低くなるのではないか。(小林委員)
- ・PTA では、現在草取りなどの奉仕活動はやっているのか。また昔はやっていたのか。人の集め方としてはPTA で声かけをしたらいいのではないか。(鈴木美佐男委員)
- ・以前はPTA で奉仕活動を実施していたが、コロナで止めてしまった。運動会が春になったといった行事の関係や、役員の組織が変わってきているのもある。PTA 役員がやっていたことを一般の人にお任せするといった方向の話も出ている。(石井委員)
- ・学校支援活動の募集にさくら連絡網を使うと、頻繁に連絡が来ることとなり連絡網を見なくなってしまうことになるかもしれないので、連絡網ばかり使うのは難しいのではないか。(佐藤委員)
- ・きっかけは紙媒体でもいいと思うが、子どもが配られた手紙を出さない為に親が情報を知らないといったことも結構あるのではないかと思う。親への声かけが必要。(鈴木アリネ委員、石井委員、佐藤委員)
- ・現在PTA では、バザー参加を募集しても10人前後しか集まらない。今後PTA をどう残していくのか課題となっている。(石井委員)
- ・地域の方のボランティア活動を通じて、子ども達に伸ばしてもらいたいところを、学校と地域で一緒になって伸ばして行けたらいい。(教頭)
- ・年間行事もみながら、挨拶運動や奉仕活動など取り組みやすいことからボランティア活動を行っていこうと思っている。今後も学校側と地域側の意見のすりあわせを重ねることが必要。活動内容をコミスク便り等で盛り込んでいくのもよい。(小林委員)

委員)

・地域の方と関わる機会と、地域の誰に来てもらうのがいいのか、整理が必要。(教頭)

- ・支援内容を整理し、地域も巻き込みながら行えるとよいのでは。(小林委員)
- ・奉仕活動は、地域まで広げずに保護者が主に行うのがよい。
- ・挨拶運動は、地域の方にも呼びかけてやってもらうとよい。(鈴木美佐男委員)
- ・親にとっては、朝子どもを家で送り出しながらの活動の参加になるので、上手くいくか不安もある。(石井委員、鈴木アリネ委員、佐藤委員)
- ・支援活動の具体的な実施内容については、今後先生方とも話し合いながら決めていきたい。(小林委員)
- ・現在の PTA の具体的な活動内容がよく分からない。奉仕活動や挨拶活動など昔は PTA でやっていた活動だが、現在は行われていない。今後ボランティアでどこまでの活動をまかなえるのか。保護者だけで行うのは限界がある。地域にも声かけが必要。先生方にもボランティアとしての参加を声かけしていくのもよいのではないか。誰かまとめ役は必要となってくる。組織的なものを作っていくことが必要。(井口委員)
- ・学力の点数ばかりに囚われず、一緒にやれることやものを通じて子ども達のいい面を伸ばしていくことも大切。ボランティアも子どもと一緒にやるといったものもよいのではないか。(井口委員)
- ・漢字などは努力で成績が上がるのが分かりやすいので、子ども達にとってもよいと思う。(角屋様)

※熟議終了

その他の報告事項等

令和5年度第4回学校運営協議会予告

司会より、次回会議は令和6年2月16日(金)14:30~16:00、南の星小学校会議室で開催する旨の報告があった。

学校運営協議会自己評価の実施について

司会より、配付資料にある自己評価用紙を12月21日締切で提出をお願いしたいとの発言があった。